

# どうする!? 防災 いざという時の備え

## －防災館体験レポート－

豊友会 SDGs 推進グループ

直江 登、中島昭夫、萩原芳恵、福井泰子

私たちの生活に身近な話題となってきた SDGs ですが、ある家族の SDGs への取り組みの一つに「住に関わる家族の行動」が有ります。今回、災害に対する備えとして、地域の防災館で貴重な防災体験（ナイトツアー1時間40分）をしてきましたので、報告いたします。

今回の体験では、①防災シアター映像とその解説②地震体験③消火体験④煙体験の4つを体験してきました。各コーナーへの移動は、災害時を想定した薄暗い中、支給された携帯ライトで足元を照らしながら移動を行ないました。



就寝中を想定した地震体験と消火体験

地震体験では、就寝中に揺れが発生した時の身を守る方法を体験し、消火体験では、まず大きな声で「火事だ」と知らせることや消火器の

使用手順・方法を学びました。また煙体験では、実際に部屋を移動しながら姿勢を低くして逃げることや停止の恐れがあるエレベータは使わない等、避難の基本・方法を体験してきました。



煙体験

これらの体験を通じて感じたことは、実際に地震や火災が起こった時、冷静な判断が果たしてできるかということでした。事前に施設の方から対応の仕方の詳しい説明を受けていたので、比較的冷静な対応ができましたが、いざという時の備えは日頃の体験に優ることはありません。

防災知識を身につけておくことは大切ですが、災害発生時に実際の行動力を高めておくことはさらに大切だと思いました。

皆さんもお住いの地域の防災館での体験をされてはいかがでしょうか。

いざという時、あわてずに落ち着いた判断・行動ができるよう、一度体験されることをお勧めいたします。

### 《ご参考》

全国防災体験館データ検索：[http:// bosailabo. jp/research/museum. htm](http://bosailabo.jp/research/museum.htm)

以上